

令和7年度 学校評価報告書 **(目標設定 実施結果)**

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①基礎学力の定着、思考力・判断力・表現力及び課題発見解決力の育成を目指した授業改善に取り組む。</p> <p>②生徒が主体となって課題を解決し、自律自走する学校行事運営や生徒会活動を目指す。</p>	<p>①生徒の学習習慣の定着及び基礎学力の向上を図る。組織的な授業改善の充実を図り、思考力・判断力・表現力の育成を図る。</p> <p>②各行事や生徒会活動について、生徒がより計画性をもって組織的に企画運営していくよう、要所を押さえた支援を行う。</p>	<p>①学年、教科で連携し、授業や課題、実力アップ講習を通して、基礎学力を向上させる。互いの授業見学等を行うことにより、思考力・判断力・表現力の育成を達成できる授業づくりを追求する。</p> <p>②特に各行事の企画運営に向けたスケジューリングを丁寧に支援することを通じて、自律自走を促していく。</p>	<p>①生徒による授業評価の各設問の回答の平均値が4段階で3.25を上回った割合が80%以上になったか。</p> <p>②学校評価アンケートの学校行事等において「主体的に取り組むことができたか」の項目で、肯定評価80%以上を達成できたか。</p>					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①学校行事や部活動の運営を通し、他者と協働して物事に取り組む態度の涵養を図る。</p> <p>②教育相談体制の一層の充実を図り、生徒一人ひとりの心身の成長を支援する。</p>	<p>①学校行事では各クラスの企画等を通して多くの生徒が他者と協働して取り組みながら成長する機会が得られるよう枠組み等を工夫する。部活動では、引き続き、要所を押さえた指導を行う。</p> <p>②職員、SC、SSW が一体となって支援にあたることができるよう組織的な相談体制を整える。</p>	<p>①必要に応じてLHR計画を更新しながら、可能な限りLHRの時間を有効に活用できるように配慮する。部活動では、引き続き顧問を中心緩急をつけた指導を行う。</p> <p>②SC、SSW の勤務日を極力同日にし、教育相談コーディネーター等とより連携をとれる体制を整える。</p> <p>また、SC、SSW が対応可能な事案を職員へ周知し、積極的な活用を目指す。</p>	<p>①学校評価アンケート等の学校行事・部活動の取組状況や満足度で肯定評価80%以上を達成できたか。</p> <p>②学校評価アンケートの教育相談等に関する項目について、肯定評価80%以上を達成できたか。また、SC、SSW と効果的に連携することができたか。</p>					
3	進路指導・支援	①高い進路希望実現に向けて、生徒がグローバルな視点を持って将来を設計できるよう、また、自らのキャリア発	①生徒の高い進路希望の実現を目指すため、進路指導の充実を図る。	①3年間を見通した「進路指導プログラム」に確実に取り組む。また、大学入試の変化について情報を収集し、生徒、保護者、教職員	①生徒及び保護者の面談、出願指導検討会及び進路説明会が有効であったか。大学入学共通テスト得点状況は良好であったか。難関国					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		<p>達を意識できるよう、3年間を見通した進路指導の充実を図る。</p> <p>②「科学と文化Ⅰ・Ⅱ」における探究活動と、ディベート活動を軸としたグローバル教育を、カリキュラムマネジメントの中核に据え、次代を担う人材に必要となる資質・能力の育成を目指す。</p>	<p>への周知を図る。</p> <p>②「科学と文化Ⅰ」と「科学と文化Ⅱ」の“学びの繋がり”の強化をとおして探究の深化を図るとともに、研究倫理教育の充実に取り組む。また、校内外のグローバル研修や英語によるディベート大会は旅行業者や国際委員と協力して、内容の充実を図る。</p>	<p>立大学合格者数 22 名以上、国公立大学合格 45% 以上を達成できたか。</p> <p>②探究活動や課題研究の各種外部大会等に参加する生徒数が 10 名を超えているか。また、校内外のグローバル研修の振り返りにおいて、満足度が高い感想や回答が得られるか。</p>						
4	地域等との協働	<p>①生徒が活動する様子が伝わる広報活動を目指し、本校の魅力や特色を積極的に発信する広報活動を展開する。</p> <p>②保護者や地域、大学等外部機関、行政機関等との協働連携を促進し、本校教育力の向上を図る。</p>	<p>①本校の教育活動について、中学生や保護者、地域の方に向けて、より見やすくかつ迅速な情報発信に取り組む。</p> <p>②保護者や地域、大学等外部機関、行政機関等との協働連携を促進し、教育活動の充実を図る。</p>	<p>①生徒の活動の様子をより詳しくわかるように説明文だけでなく写真も掲載し、期間を空けないように発信する。また、学校説明会等の予定も早めに告知する。</p> <p>②授業や学校行事、キャリアアップ講座等において、行政機関、大学研究機関、地域、民間等と連携した教育活動の充実を図る。</p>	<p>①学校説明会等におけるアンケートで、ホームページから適切に情報を伝えているという肯定評価 90% 以上を達成できたか。</p> <p>②授業や学校行事、キャリアアップ講座等における講師や地域の活用状況や、学校評価アンケートの肯定評価が 80% 以上を達成できたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む雰囲気を醸成し、魅力と活気ある学校づくりに取り組む。</p> <p>②各種会議を計画的に実施し、効率的な学校運営に取り組むとともに、安全安心な教育環境を整備する。</p>	<p>①定期的な研修会等により、職員間の信頼関係を高め、課題に前向きに取り組む魅力と活気ある学校づくりに取り組む。</p> <p>②ICT の利活用を推進するとともに、円滑で効率的な学校運営に取り組み、安全安心な教育環境を図る。</p>	<p>①職員同士が尊重し合える職場を目指すために、人権研修会および不祥事防止研修会を実施する。職員間の情報共有を積極的に推進する。</p> <p>②ICT の利活用を推進し、校務の効率化を図るとともに、防災研修会など地域と連携した防災対策を進め</p>	<p>①職員人権研修会の取組状況等による検証はできているか。職員間の報告・連絡・相談を励行しているか。</p> <p>②ICT の利活用により、業務の効率化を図れたか。防災訓練の実施状況等による検証はできているか。</p>					